

【イベント案内】

県立陣馬自然公園センター

●自然教室「知って得する陣馬山1000の魅力
～山頂で守人 生トーク～」
内容：陣馬山のかくれた魅力を山頂の「守人」が語ります。
山を守るための調査も体験！ 標高差約500m
日時：9月29日(土) 8:45～14:30頃
集合解散：陣馬自然公園センター
募集人数：高校生以上 20名
参加費：1人1,500円
締切：9月15日(土) 必着
交通機関：JR中央線藤野駅から路線バス
和田行き 8:10発 乗車時間18分 運賃片道240円

県立丹沢湖ビジターセンター

●自然教室「山でのトラブル対処法」
内容：事故発生時にできるだけ早くプロに引き継ぐ方法
を学びます。
日時：10月14日(日) 10:00～16:00頃(荒天中止)
集合解散：西丹沢自然教室 ※午後、周辺の登山道を歩きます。
募集人数：高校生以上20名
参加費：1人1,500円(保険代、資料代)
締切：10月1日(月) 必着
共催：西丹沢自然教室

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

●自然教室「相模の古代の宝石・セラドン石をさがしに行こう！」
内容：丹沢の成り立ちを物語る岩石をさがしに行きます。ペン
ダント作りにも挑戦します。
日時：平成24年11月10日(土) 9:45～15:30頃
集合解散：宮ヶ瀬ビジターセンター
対象：一般(未就学児不可)小学生は保護者同伴、30名
参加費：1人2,000円
締切：10月20日(土)

箱根ビジターセンター

●箱根地域自然に親しむ運動
「箱根旧街道 西坂を訪ねて」
実施日：9月22日(土) 9:30
恩賜箱根公園スタート
※当日の静岡県東部の降水確率が40%以上の
場合中止
コース：恩賜箱根公園～箱根開所～箱根峠～接待茶屋
～山中城址(約8キロ)
集合：小田原駅西口 8:20
バスにて恩賜箱根公園へ移動
解散：山中城址公園 15:30
参加費：大人1,500円 子ども900円
締切：9月15日(土)
申込み：行事名・参加希望者全員の住所・氏名(ふりがな)・年
齢・性別・電話番号を記載し、往復ハガキまたは電子
メールで箱根ビジターセンターまで。
e-mail: hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

県立秦野ビジターセンター

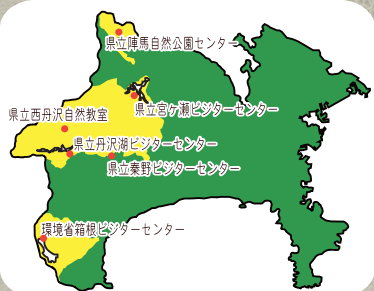
●自然教室「歩こう！丹沢の水源林」
内容：森の中には何がある？
丹沢の水源林を歩いて、そこで暮らす生きもの
や森の役割をさぐります。
日時：11月23日(金) 9:00～16:00
集合解散：松田町 寄バス停
活動場所：やどりき水源林内
募集人数：小学校3～6年生とその保護者 25名
参加費：1人1,500円
締切：11月8日(木)

県立ビジターセンター自然教室申込方法
往復はがきに行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・
電話番号を記入して締切日必着で各センターまで。詳細
は返信はがきでお知らせします。(丹沢湖ビジターセン
ターはFAX可)

花言葉の答え

キンミズヒキ：感謝 シラヤマギク：丈夫 ノアザミ(ノハラアザミの仲間)：権利、もつと私を知ってください
※花言葉は、解釈や書籍等によって1種の花にいくつもある場合がございます。本誌で紹介したのはその一例です。

自然公園へ出かけよう



休館日のお知らせ
県立ビジターセンター：月曜日(祝日開館)、祝日翌日(土日開館)
1～3月第2木曜日(祝日開館)
年末年始(12/29～1/3)
箱根ビジターセンター：6月第2水曜日とその翌日、
年末年始(12/28～1/1)

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
(1/4～2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川1867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30
(12/1～3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡降旗町元箱根日丸場164
Tel0460-84-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
<http://www.nmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/>

編集・発行：公益財団法人 神奈川県公園協会 〒231-0027 横浜市中区扇町3-8-8関内ファーストビル6階

TEL:045-651-0931 FAX:045-651-0932

公園課(自然公園担当):sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

後援：丹沢大山自然再生委員会

神奈川県公園協会 検索

2012

9・10月号
No.99

～自然公園から季節のたよりをお届けします～

神奈川県自然公園だより

丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園



写真1



写真2

秋の名がつく草花達

丹沢湖ビジターセンター

秋の山路を歩いていると、比較的多く見られる草花に、キバナアキギリやアキノキンノウなどがあります。いずれも秋という文字が名前に入っています。その他にも名前に秋が入っている植物には、アキカラマツ、アキノタムラウ、セキヤノキチョウジなどがあります。

写真1のキバナアキギリは、低山に咲く植物で、やや日当たりのよい広葉樹林や植林地の登山道沿いなどに生育し、少し湿気のある場所に咲いています。

写真2のアキノキンノウは、草原から明るい森林地に生育します。別名をアワダチソウとも言われています。花が泡立つように咲くことから付けられた名前のようです。帰化植物のセイウチアワダチソウも同属です。



写真3

写真3は、セキヤノキチョウジです。名前の由来は、昔の関守の家を関屋と呼び、丁字は、花の形からきています。関所の付近に咲いていたことから名づけられたようです。

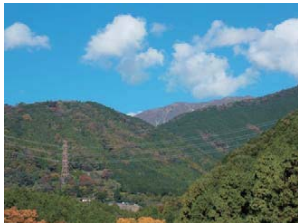
秋の山路をのんびり歩くと、これらの草花が出迎えてくれます。(大津)

生きもの名前については、ミニコラムでも紹介しています。

ビジターセンターから、旬の情報

「親子で丹沢ミニ登山！」 秦野ビジターセンター

「小さな子供と一緒に登れそうな所はありますか?」
こんなご質問を時々いただきます。そこで今回は、未就学児さんも比較的登りやすい、でもがんばらないと登れない、そんなお勧めコースを1つご紹介します。



ビジターセンターから見た大倉高原山の家方面(左鉄塔の上辺り)

当センターを出発して、丹沢でも人気の塔ノ岳方面に向かって大倉高原山の家まで登る標高差約300mのコースで、自然教室で4才さんどもどろんこになってがんばって歩いたことのあるコースです。登山道脇のモグラのトンネルやけもの道、獲物を引きずるアリや野鳥の声、宇

宙人みたいなキノコ、香りの枝、エビフライの様なリスの食痕、黒豆みたいなニホンジカのフン...

まだまだお勧めポイントはたくさん! 出発前にぜひビジターセンターにお立ち寄りください。詳しい行き方や楽しみのヒントをご紹介します!

雨の後はぬかぬかがひどかったり時には迷う事もあったりする登山ですので、十分ご注意ください。(柳川)



タコ星人



ニホンジカ

台風シーズン到来

今年は既に6月に台風の被害を受けていますが、秋と言えば台風シーズンです。昨年の秋は台風15号の影響で丹沢の山々は大きな被害を受けました。

西丹沢には沢沿いの登山道が多く、丸太を組んで作られた橋の多くが沢の増水によって流されました。橋の架け直しは人力で行われ、多くの人出と日数がかかりました。

また、土砂崩れが発生するとともに南東の風によって樹木がなぎ倒されました。倒された樹木の処理には半年もの月日がかかり、雪が降り積もっている中でも作業が行われました。

台風の通過直後は登山道にどのような影響がでているかわかりま

西丹沢自然教室

せん。ビジターセンターのホームページで確認するか、ビジターセンターに直接電話して確認の上登山されることをおすすめします。(赤塚)



(写真は今年6月のものです)

丹沢の砂から見えるもの

足もとの砂を、拡大して見たことがありますか。写真は、早戸川の砂を顕微鏡でのぞいたものです。見た目は黒っぽいのですが、拡大すると黒のほかに、茶色、青色、黄緑色、灰色、半透明な砂粒もあります。鮮やかな色に、いつも驚きます。また、角ばったものだけでなく穴のあいた砂粒もあります。

川によっても、砂の色が違います。もしかしたら砂金が混じっているかもしれません!?

約1500万年前に南の海の火山島だった丹沢は、プレートの動きによって本州につながりました。宮ヶ瀬周辺にある緑色のセラドン石やタマネギのようにはがれる石は、丹沢の成り立ちを知るヒントです。

11月にはセラドン石をテーマとした自然教室があります。興味のある方はお申し込みください。(倉持)



早戸川の砂を拡大したもの。色が多いことに驚きます。

河原の石や砂は、観察するときれいなものに出会えます。

宮ヶ瀬ビジターセンター

魅力的な大きなガ

夏にクワガタムシたちが大暴れした後、夜空を飛翔するのは大型のガたちです。夜行性の彼らは夜中、街灯などの光に引き寄せられます。朝早く街灯の下や壁を見つめるの大きな翅をひろげるとまっている姿を見ることが出来ます。

「ガ」というと「かぶれる」、「気持ち悪い」、などのマイナスイメージが強いかと思えます。しかし触るとかぶれる種類はごく一部、毛で覆われた大型のガは触るととても気持ちがいいんです。

ガの仲間の顔を見たことがありますか? 毛に覆われたモコモコの顔はまるで小型哺乳



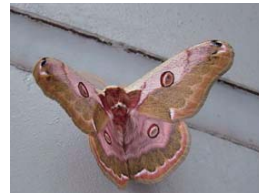
手のリガ

箱根ビジターセンター

類のようでとてもかわいいんです。

光に集まり静止しているガはとてもおとなしく、ガの顔に指をあてるとヨチヨチと手に乗ってくる場合があります。これを「手乗りガ」と勝手に呼んでいますが、手から落ちないように一生懸命しがみつきます。愛らしくて仕方ありません。

秋の夜は散歩がてら街灯巡り、ガの魅力を堪能するのはいかがでしょうか。(須田)



ヒメヤマモ



哺乳類のような顔

秋は陣馬山の山頂が見頃です 陣馬自然公園センター

秋の草花が咲き誇る季節。残暑厳しい陣馬山では、暑さに耐えてきた草花たちが可憐に咲き登山者を出迎えてくれます。山頂付近は開けた花畑となり、黄色・白・オレンジなどが秋の透き通った青い空に映えます。特にフシグロセンノウは朱赤でよく目立ちすぐに見つける事が出来るでしょう。花言葉は「転機」。だそうで見ていると人生が変わるかも...?

花言葉を調べてみると、また違った見方が出来るととても楽しくなりますよ!(清水)



フシグロセンノウ



キンミズヒキ



シラヤマギク

ノハラアザミ

フシグロセンノウ以外の花言葉の正解は、裏面をご覧ください。

ミニコラム 「タンザワ」「ハコネ」を名にもつ生きもの

丹沢・箱根地域は、南方から押しよせるプレートの動きによって山々が形成された、地学的にも大変特徴的な土地です。こうした環境を特徴づける「フォッサマグナ要素」とよばれる植物や、丹沢・箱根を基準産地(新種として認められた時の標本を採集した場所)とする生きものなどが多くあります。その中にはタンザワやハコネを名前に持つものも多く、以下に代表的なものを紹介します。

植物

- ハコネラン
- ハコネハナヒリノキ
- ハコネトリカブト
- ハコネソウ
- ハコネシロカネソウ
- ハコネコムツジ
- ハコネグミ
- ハコネギク
- ハコネウツギ
- ハコネイトスゲ
- タンザワヒゴタイ
- タンザワサカネラン
- タンザワケイマ
- タンザワウマノズクサ
- タンザワケイマ
- ハコネコムツジ



タンザワケイマ



ハコネコムツジ

動物

- ハコネサンショウウオ
- ハコネアシナガコガネ
- タンザワメクラチビゴミシ
- タンザワフキバッタ
- タンザワナガゴミシ
- ニシタンザワメクラチビゴミシ



ハコネアシナガコガネ



タンザワフキバッタ